

令和5年度 すくすくウオッチの分析

河内長野市立天見小学校 5年生

すくすくウオッチの概要

国語

評価の観点別	学校の平均正答率
知識・技能	93.8
思考・判断・表現 (書くこと)	100

概要

正答率について、どの項目においても大阪府の平均正答率（知識・技能78.3、思考・判断・表現82.4）を非常に大きく上回っている。

特に成果が見られた問題例

○昨年度の課題であったローマ字を書く問題、故事成語については、それぞれ府の平均正答率よりも31.6、33.4高い数値であり、大きく上回っている。

○指示語の問題についても、府の平均よりもそれぞれ10.6、11.9回っており、全員正解していた。

特に課題が見られた問題例

○正答率が高く、今年度の結果に対する課題については取り立ててあげるものがないが、昨年度までの傾向である「助詞や述語、指示語」など読解力の基礎となる部分について、日々の指導で意識していくこと、またローマ字やことわざ、故事成語についても学習に計画的に組み入れていくことも必要であると考える。

算数

評価の観点別	学校の平均正答率
知識・技能	75.0
思考・判断・表現	25.0

概要

思考・判断・表現について課題が見られる。しかしながら、大阪府の平均正答率（知識・技能48.0、思考・判断・表現11.1）と比較すると、大きく上回っている。

特に成果が見られた問題例

○四則計算（わり算）の立式と計算問題が正しくできており、府の平均正答率より19.5上回っていた。

○データの活用問題は正答率75.0と高い正答率であり、これは府の平均正答率と比較して、50.6と非常に大きく上回る結果となった。

算数

特に課題が見られた問題例

○問題文やグラフから読み取れる情報を基に計算し、必要な数量を求めるとともにその求め方を説明する問題について、正答率が25.0であった。(府の平均正答率は11.6)

○図形の構成要素についての問題で、正答率が56.3であった。(府の平均正答率は39.9)

理科

評価の観点別	学校の平均正答率
知識・技能	78.6
思考・判断・表現	95.8

概要

領域別、観点別、問題形式別のすべての項目で府平均正答率を超えており、問題別でも10問中9問は府正答率を超えている。

特に成果が見られた問題例

○ソーラークッカーの原理からより早く温める工夫を考えて、書き表す問題では全員が正解していた。(府の平均正答率は59.6)

○閉じ込められた空気の性質を利用している身の回りの例を選択する問題では全員が正解していた。(府の平均正答率は42.0)

特に課題が見られた問題例

○虫めがねの正しい使い方を理解しているかを問う問題では正答率が37.5であった。(府の平均正答率は34.1)

○乾電池2個と豆電球1個からなるカイロで、乾電池を直列つなぎにしたときと並列つなぎにした時の豆電球の明るさの違いを理解しているかを問う問題の正答率は12.5、準正答率(不完全正答)は75.0であった。(府の平均正答率は27.4、準正答率は36.3)

わくわく問題 (教科横断的な問題)

観点別	学校の平均正答率
A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。	91.7
B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。	59.4
C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。	87.5
D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。	78.1
E 興味関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。	100

概要

問題によってばらつきがあるが、全項目において大阪府の平均正答率を超えている。

特に成果が見られた問題例

○センサーについての2つの資料を読み、タブレット端末でできることはどのセンサーが使われているのかを書く問題について、正答率が73.7であった。（府の平均正答率は75.1）

○発言がどの資料を読み取ったものかを記号で答える問題について、正答率が73.7であった。（府の平均正答率は50.8）

特に課題が見られた問題例

○図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える問題について、平均正答率が59.4であり、府の平均正答率（51.8）に比べて差が少なかった。

すくすくウォッチの概要

児童アンケート

概要

人とかかわりについての項目で好ましい回答率が高い傾向がある。また基本的な生活についての項目も概ね良好な回答率が高かったが、気になる点もあった。

特に成果が見られたアンケート項目例

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」という項目について、肯定的な回答率が100であった。

○「家の人と、その日の出来事について話をしている」という項目について、肯定的な回答率が100であった。

○「新しいことに挑戦することは好きだ」「誰もやったことのない物事にとっても興味がある」という項目について、肯定的な回答率がどちらも87.5であった。

特に課題が見られたアンケート項目例

○「学級会の話し合いでは、少数意見も大切にしている」という項目について、肯定的な回答率が50.0であった。

○「ふだん（月曜日から金曜日）どれくらいの時刻に寝ていますか」という項目について、「午後9時から10時」が75.0、「午後10時以降」が25.0であった。

結果を受けて

学校が重点的に取り組んでいくこと

(国語)

- ・今後も引き続き、助詞や述語、指示語など読解力の基礎となる部分について、日々の指導で意識していきます。
- ・ローマ字やことわざ、故事成語についても学習に計画的に組み入れていくことを共通理解して進めていきます。

(算数)

- ・問題文やグラフから読み取れる情報を基に計算し、必要な数量を求めるとともにその求め方を説明する問題について、普段の授業で「問題を解く」経験を積んでいくようにします。
- ・答えを書く前にもう一度問題文を読み返すことや、書いた答えが自分の意図したとおりであるのかを確認するように指導していきます。
- ・何を問われているのかをはっきりさせるくせをつけるように、日々の授業から取り組んでいきます。

(理科)

- ・実験や観察の技能に関わる器具についての使い方や名称について、実際に実験などを行っている時に確認し、習得できるように取り組みます。

児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと

- ・難しい課題に出会ったときに、過去にどのように取り組んだかを思い出しながら、ねばり強く考えるようにしてください。
- ・これからも新しいことにチャレンジしようと思う気持ちを持って、いろんなことに挑戦してください。
- ・友だちの意見や発表をしっかり聞いて、自分の考え方と同じように友だちの考え方も大切にしてください。

保護者のみなさまに協力してほしいこと

- ・お子様をしっかり褒めてあげている様子がアンケートからうかがえます。適正に褒めることは自己肯定感や自尊感情の向上につながりますので、引き続きお子様をよく見て褒めてあげてください。
- ・お子様が「どうして」と疑問に思ったり、わからないことが出てきた時はチャンスです。一緒に考えてあげたり、調べ方を教えてあげたりして、新たな知識や技能が習得できるように援助してあげてください。
- ・生活のリズム、特に睡眠は体調だけでなく心や体の発育に大きな影響を及ぼします。様々な生活環境の違い等もごさいますが、「早寝・早起き・朝ごはん」を大切にしてほしいと思います。